

船舶事故等調査報告書

平成26年7月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012広第204号
事故等種類	衝突
発生日時	平成24年9月25日 16時31分ごろ
発生場所	岡山県倉敷市水島港 水島港西1号防波堤灯台から真方位287° 1.7海里付近 (概位 北緯34° 28.6′ 東経133° 42.0′)
事故等調査の経過	平成24年11月9日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A コンテナ船 HAI MEN（中華人民共和国籍）、7,503トン 9613771（IMO番号）、MINSHENG SHIPPING CO LTD B 貨物船 三萬吉 ^{さんまんよし} 5、267トン 141456、有限会社三萬吉
乗組員等に関する情報	A 不詳 B 船長B、四級海技士（航海）
死傷者等	なし
損傷	A 右舷船尾部外板に凹損、ハンドレールに曲損 B 船首先端部に凹損
事故等の経過	A 船は、水島港のJFEスチール西日本製鉄所（以下「JFE」という。）南側海域を速力（対地速力、以下同じ。）約12ノット（kn）で西北西進中、平成24年9月25日16時23分ごろ徐々に減速し、16時31分ごろ、JFE西側の掘下げ水路に入って間もなく、A船の右舷船尾部とB船の船首先端部とが衝突した。 B船は、船長Bほか3人が乗り組み、熱延コイル約687tを積み、阪神港に向け、16時10分ごろJFE岸壁を離れ、船長Bが、機関を半速力前進にかけて徐々に増速しながら、JFE西側の掘下げ水路を手動操舵で南進した。 船長Bは、16時27分ごろ約10.9knの速力で航行中、左舷前方に前路を横切る態勢で接近するA船を認め、A船の船尾方を通過しようと思い、直ちに機関を中立とし、その後、機関を後進にかけた。 B船は、減速しながら、針路を保持して航行中、A船と衝突した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北、風力 2、視界 良好 海象：潮汐 上げ潮の中央期
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与	A 不明、B あり A 不明、B なし

<p>気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>A 不明、B なし</p> <p>A 船は、水島港の J F E 西側の掘下げ水路を西北西進中、右舷船尾部が B 船の船首先端部と衝突したものと考えられるが、A 船から情報が得られなかったため、衝突に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>B 船は、水島港の J F E 西側の掘下げ水路を南進中、船長 B が、左舷前方から接近する A 船を認め、A 船の船尾方を通過しようと思い、機関を中立とし、その後、機関を後進にかけて減速中、A 船と衝突したものと考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、水島港の J F E 西側の掘下げ水路において、A 船が西北西進中、B 船が南進中、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・港内においては、周囲の状況を考慮し、増速には注意すること。